**提 案 書**

【様式２】

**1.組織概要及び事業実施体制について**

**■組織概要について**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **企業名称及び代表者名** | |  | |
| **本社及び本業務を実施する事務所の所在地** | |  | |
| **主たる業務内容** | |  | |
| **会社**  **（組織）** | **本件業務に同種・類似した業務の実績（直近３年間）** | **年月日** | **業務実績（可能であれば、発注者名も記入）** |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**※業務実績が多数の場合は適宜行を追加して頂いて構いません。**

■本件業務実施体制について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主任担当者 | 氏名 |  |
| 所属部署 |  |
| 電話番号／メールアドレス |  |
| 本業務の実施に資する資格等 |  |
| 同種または類似の業務経験（直近３年間） |  |
| 担当者 | 氏　名 | 本業務と同種又は類似の業務経験（直近３年間） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

注）担当者が複数いる場合等、多数の場合は適宜行を追加して頂いて構いません。

**太字・下線の評価基準は必須項目であり、最低限の水準（基礎点）に達しない場合には、失格とする。**

**2.セキュリティ対策と作業工程表について**

【様式３】

**企業名**

|  |
| --- |
| **セキュリティ対策について**  **c.本業務を実施するうえでのセキュリティ対策は十分であるか、具体的に説明してください。** |
| 以下の項目に沿って、記述して下さい。   1. 本件個人情報の取扱い作業場所とそのセキュリティ対策（本件個人情報を取り扱う事務所、作業場等の具体的な名称及びその所在地、本件個人情報を取り扱う事務所、作業場等の具体的な名称及びその所在地を記入してください。）及び作業を行う場所のセキュリティの確保状況（ICカード、パスワード等による入室制限、作業領域と一般事務室との隔離　等） 2. 本件個人情報のセキュリティ対策等（本件個人情報が含まれる媒体（以下「情報媒体」という。）の保管場所及び方法、本件個人情報の漏洩等（盗難、紛失を含む。）の対策として講じているセキュリティ対策並びに個人情報が漏洩等した場合の対応について具体的に記載すること。） 3. 業務終了後の本件個人情報の返還等の方法（仕様書で指定された本件個人情報の返還、消去又は廃棄の具体的な方法（確認者及び確認の方法等を含む。）を記載して下さい。） 4. 管理体制 (個人情報の管理体制を図示または記述してください。) 5. 個人情報・情報セキュリティマネジメントシステムに関する認証等(プライバシーマーク、JIS Q 15001、ISO/IEC 27001　(JIS Q 27001の登録番号・認定番号、有効期限を記載して下さい。)   注）別紙（タイトルに「別紙　セキュリティ対策について」と明記）に作成し添付しても良い。 |
| 作業工程表について  d.仕様書の内容に則して、計画的かつ納期までに業務が完了する実現性ある内容となっているか、具体的に説明してください。 |
| 注）別紙（タイトルに「別紙　作業工程表」と明記）に作成し添付しても良い。 |

**注）記入欄がたりない場合、適宜行を追加又は別紙に記入して頂いて構いません。**

**太字・下線の評価基準は必須項目であり、最低限の水準（基礎点）に達しない場合には、失格とする。**

**3.本件業務に対する提案**

【様式４】

**企業名**

|  |
| --- |
| **調査・分析の基本的考え方について**  **e.本業務の目的や背景を十分に理解したうえで、明確かつ的確な考え方が示されているか。** |
|  |
| データの集計・分析の視点や切り口について工夫はあるか  f. 性能等級データの集計・分析を進めるにあたって、的確な分析を行うために、独自の視点や切り口の設定やその実施方法についての工夫が示されているか。 |
|  |

**注）記入欄がたりない場合、適宜行を追加又は別紙に記入して頂いて構いません。**

**太字・下線の評価基準は必須項目であり、最低限の水準（基礎点）に達しない場合には、失格とする。**

|  |
| --- |
| データクレンジング方法の考え方に工夫はあるか  g. 元データの間違いをどのように検出し、円滑な集計・分析を進めるうえで支障が生じないよう、修正・置換等（データクレンジング）をする方法について、現実的かつ実践的な考え方や工夫が示されているか。 |
|  |
| **大量のデータ処理と解析を進める上での工夫について**  **h.取り扱うデータ量が大きいため、的確な集計・分析作業等を進めるうえで、電子計算機やソフトウェアの使用方法について具体的な提案が示されているか。** |
| 仕様書「４．業務実施に関する付記事項（２）業務実施に関する留意点」を、踏まえて記入すること。 |

**注）記入欄がたりない場合、適宜行を追加又は別紙に記入して頂いて構いません。**

**太字・下線の評価基準は必須項目であり、最低限の水準（基礎点）に達しない場合には、失格とする。**

|  |
| --- |
| 独自の提案内容はあるか  i.仕様書の求める要求事項を満足するために、調査・分析にあたって、その他のなんらかの独自の現実的な提案・工夫があれば、評価する。 |
|  |

**注）記入欄がたりない場合、適宜行を追加又は別紙に記入して頂いて構いません。**

**太字・下線の評価基準は必須項目であり、最低限の水準（基礎点）に達しない場合には、失格とする。**